

<p style="text-align: center;">Devotion Guide/ユースマナ</p> <h1 style="text-align: center;">Youth Manna</h1> <p>マルコ1:35 さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。</p>	<p style="text-align: center;">2023/12/11(月) 箴言23:1-18</p> <p>みんなは、周りの(クリスチャンじゃない)友達が羨ましいなあと思ったり、(彼らの価値観の方が)よく見えた経験はないかな? ①もしあったら、ノートに書き出してみよう。 ②心のうちで罪人を羨んではならない。いつも、ただ主を恐れていよ。(17) 何の制限もなく夜遅くまで遊んだり、自由な男女交際等は、とても楽しそうに見える。しかし、20代後半の著者から言えることは、自由には必ず、責任と(人の弱さによる)過ちが伴い、過ちにより傷つくことも沢山あるということだ。(※これは私の経験談です。内容が気になった方は悠人さんに月曜日の執筆者を確認して直接聞いてください。) ★「知恵の道は楽しい道。その道は平安である。(箴言3:17)」知恵を聞き守ることは、君にとっての安全、平安であることを覚えよう!</p>	<p style="text-align: center;">2023/12/12(火) 箴言23:19-35</p> <p>知恵を得よとの勧めの中で、私たちの心の態度がどうあるべきかが19節、26節に書いてあるね。神様のことばを聞いて、それを実際に行動に移すか移さないかの違いがここにある。今あなたの心は、神様に対してどうだろうか?</p> <p>父母に対する神様のみこころは何だろうか? 22~25節を読んで思い巡らそう。今自分が取り組むべきことがあれば祈って実行しよう!</p>	<p style="text-align: center;">2023/12/13(水) 箴言24:1-22</p> <p>聖書全体の代表的な教えの一つは「あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい」(マタイ19:19)である。今日の箇所には隣人愛をテーマにした言葉がある。それらの言葉に注目したい。 ①貧しい人、弱い人に対して：死に渡されるために捕らえられた者を救い出すようにと命じられている(11)。私たちは、弱い者に対して無関心であってはならない。 ②敵に対して：「あなたの敵が倒れるとき、喜んではならない」、「悪を行うものに対して腹を立てるな」と命じられている。私たちにあっては敵と思われるような人でも、「主がそれを見て心を痛め」るのである。 ③主と王に対して：王は国の権力者であり、主の代理人として立てられている。主が立てた権力を持つ指導者をも愛することを心に留めておきたい。 心に思わされる人のためにお祈りしよう!</p>
<p style="text-align: center;">2023/12/14(木) 箴言24:23-34</p> <p>箴言で語られる「知恵のある者たち」の対極に位置するものは、悪者、怠け者である。 25v.「悪者を叱責する者たちは喜ばれ、すばらしい祝福が臨む。」 あなたは悪いことに対して悪いと率直に言えているだろうか? 見て見ぬふりをしていないだろうか? 33.34v 「少し眠り、少しまどろみ、少し腕を組んで横になる。すると、付きまとう者のように貧しさが、武装した者のように乏しさがやって来る。」 これは箴言6:10.11でも全く同じことが語られている。</p> <p>悪者、怠け者は他人のことではなく、私たち全員が持っている性質である。神様の心を見て、それを選ぶ生き方を選ぼう!</p>	<p style="text-align: center;">2023/12/15(金) 箴言25章</p> <p>●21-22を読もう。どんな人に何をするように勧められているかな? ●「燃える炭火を積む」とは意地悪な相手でも寛大さを示すことを意味している。きみが今思いやりをもって寛大な心で接するべき人は誰だろうか?</p> <p>*諸説あるが、当時、家事のための火種が消えたら、隣の家に炭火をもらいにいく習慣があった。そのとき少しでなく炭を積み上げたたくさん与える人が寛大とされていた。</p>	<p style="text-align: center;">2023/12/16(土) 箴言26章</p> <p>神様に喜ばれない具体的なことが今日の箇所には記されているね。 ・自分がなんでも知ってると思うこと(上から目線で人を見ること) ・できることをしないでいること ・陰口をいうこと</p> <p>君にとって思い当たる部分はどこかな? この3つをいつでも完璧にしないで行っているのはイエス様以外の人には難しい。だけどヘブル4:15にあるように、イエス様は私たちの弱さに寄り添ってくださる方だね。思い当たる部分があるのは、神様に悔い改めて新しく歩むための希望の一步! 今祈って、それらをする誘惑から守られるよう祈ろう!</p>	<p style="text-align: center;">2023/12/17(日) マラキ4章</p> <p>今日の箇所は、旧約聖書最後の章です。ここには「その日」と呼ばれるさばきの日があることがはっきりと書かれているね。神様はそのさばきの日の前に「預言者エリヤを遣わす」と言ったんだ。これはバプテスマのヨハネによって成就したよ。ヨハネは救い主であるイエス様の先駆けとして、人々に悔い改めのメッセージを語り、神に立ち返るように語ったんだ。</p> <p>●神様の救いの計画がどのように成就したのかを思い巡らそう。 ●イエス様が来られたのは、私たちの罪が赦されて救われるためでした。信じる私たちは、イエス様がさばき主として来られる前に、どのように歩むべきだろうか?</p>